

児童発達支援 自己評価表

公表：令和2年9月30日
児童デイサービス ひかり(児童発達支援)

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いいない | いいえ |
|------------------|--|--|------|---------------|-----|
| 環境・ 体制 整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 100% | | |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | 100% | | |
| | 3 | 事業所の設備は、バリアフリー化や情報伝達等の配慮が適切になされているか | 100% | | |
| | 4 | 事業所の空間は、清潔で心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか | 100% | | |
| 業務 改善 | 5 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | 70% | 30% | |
| | 6 | 保護者等向け評価表により、保護者等に対し事業所の評価を求め、保護者等の意向等を把握し業務改善につなげているか | 70% | 30% | |
| | 7 | 事業者向け自己評価及び保護者向け評価表の結果を踏まえ事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容をホームページ等に公開しているか | 30% | 70% | |
| | 8 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | | 70% | 30% |
| | 9 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 100% | | |
| 適切な 支援の 提供 | 10 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか | 100% | | |
| | 11 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | | 70% | 30% |
| | 12 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されているか | 70% | 30% | |
| | 13 | 児童発達支援支援計画に沿った支援が行われているか | 100% | | |
| | 14 | 活動プログラムの立案をチームで行なっているか | 70% | | 30% |
| | 15 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 40% | 30% | 30% |
| | 16 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか | 70% | 30% | |
| | 17 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | | 100% | |
| | 18 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 70% | 30% | |
| | 19 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 100% | | |
| 20 | 定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか | 70% | 30% | | |

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いいえ | いいえ |
|------------|----|---|------|--------------|------|
| | 21 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通したもつともふさわしい者が参画しているか | 100% | | |
| | 22 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか | 30% | 70% | |
| | 23 | 保育所や認定こども園、幼稚園、等との間で、情報共有と相互理解を図っているか | | 100% | |
| | 24 | 児童発達支援事業所から放課後等デイサービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を伝えているか | 70% | 30% | |
| | 25 | 児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 70% | 30% | |
| | 26 | 保育園や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | | | 100% |
| | 27 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか | | 30% | 70% |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 100% | | |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか | | 70% | 30% |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 70% | 30% | |
| | 31 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容に基づき作成された「児童発達支援計画」を保護者に示し同意を得ているか | 70% | 30% | |
| | 32 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 70% | 30% | |
| | 33 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同志の連携を支援しているか | | | 100% |
| | 34 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 100% | | |
| | 35 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | | 100% | |
| | 36 | 個人情報の取扱いに十分注意しているか | 100% | | |
| | 37 | 障害のある子どもや保護者との意志の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 100% | | |
| | 38 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | | | 100% |
| 非常時等の対応 | 39 | 緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか | 70% | 30% | |
| | 40 | 非常最大の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 70% | 30% | |
| | 41 | 事前に、服薬やてんかん発作等の子どもの状況を確認しているか | 70% | 30% | |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、意志の指示書に基づく対応がされているか | 100% | | |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 100% | | |
| | 44 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 100% | | |
| | 45 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか | 30% | 70% | |